

## 平成27年度第1回福岡市食育推進会議での主なご意見

### 朝食について（主に小中学生について）

- 小中学校においては、給食の時間や家庭科などの教科を通じての取り組みや、弁当の日の取り組みなど、「早寝早起き朝ごはん」として、たくさんの取り組みが行われているので、朝食はよくなっていると思っていたが逆に下がっていた。SNSとかも関係しているのでは。
- 5, 6年生の家庭科では、家族の一員として自立するために、自分で作っていけるように目標を持たせて学習をすすめているが、学校でいくら学んでも家庭でそれを活かすチャンスが少なくなってきたという現状があると感じている。
- アンケート調査によると、就寝時間や起床時間など「早寝早起き」については改善しているが、朝食の喫食には繋がっていない。欠食の理由は「食べる時間がない」「食欲がない」の2つが多い。早寝早起きしているのになぜ食べる時間がないのか、生活習慣も整ってきているのになぜ食欲がないのか、という部分の調査はできていないので、今後アンケートの取り方等工夫が必要と考える。
- 家庭で朝食は用意されているのだろうか。朝食は用意されているが時間がなくて食べないのか、用意されていなくて食べないのか、こういう視点も必要と思う。
- 何を食べたら朝食というのか。バナナ1本でも朝食なのか、主食と主菜がそろわなくては朝食といえないのか。朝ごはんにどのようなものを食べているのかも聞いてみたい。
- 食育の大切さや、こういう風に食べることがどうして大切なのかといったことを、きちんと理解させながら具体的にどう食べるかを伝えていく工夫や取り組みをしてほしい。

### 食の安全について

- 安全な食物を供給するという点（食の安全確保）も第3次計画の中で検討してほしい。

### 学校給食の市内産農水産物利用割合について

- 野菜の15%が現実的な目標なのか、米の数値はもっと高くできるのか など検討してほしい。

### 全体について

- （朝食など）100%を目標にしているが、80%ぐらいでもよく頑張っている成果だと思う。今後も100%を目指していくのかなどを含めて、目標値をどのように設定していくかが重要だと思う。
- 実際どうしてなのかという原因が明確にならないと対策ができないので、しっかり分析をしてほしい。
- 調査はどのポイントが知りたいのかをきちんと定め、それに対してどのような行動を計画していくかが大切。
- 食育はずっと続けていかなければならないこと。3次・4次…と言うことではなく、改善のタイミングととらえ、よりよい計画と行動にしていく。